

おせちとは…

にほん しょうがつ みっかかん
日本のお正月の三日間、
まいにち た りょうり
毎日食べる料理です。

にほん しょうがつ 日本のお正月 ～おせち～

しょうがつ みっかかん た
どうしてお正月の三日間食べるの？

むかし にほん しょうがつ みっかかん かじ
→昔の日本はお正月の三日間は家事をしませんか
ら、火や刃物を使わない風習がありました。また、
い み た えんぎ
意味がたくさんある「おせち」を食べると、縁起が
いいからです。

たい しんねん
“鯛”新年は「めでたい」の

“たい”と魚の“たい”で、

えんぎ
縁起がいいです。

ぶり
“鱒”鱒は大きくなると名前が変わります

から、「出世魚」と言います。会社で出世が

できることを願います。

えび こし ま
“海老”腰が曲がるまで、

なが い
長く生きることができると

を願います。

だてまき
伊達巻

ぶんか はってん べんきょう なら ごと せいこう ねが だて はなやか いみ
文化の発展や、勉強や習い事の成功を願います。「伊達」は「華やかさ」の意味があります。

こうはく
“紅白なます”

へいわ へいあん ねが
平和と平安を願います。



こうはく
“紅白かまぼこ”

あか まよ しろ しんせい いみ
赤は魔除け、白は神聖の意味

があります。

かず こ さかな たまご
“数の子”にしん(魚)の卵

ですから、子宝や、子孫繁栄

を願います。

くり
“栗きんとん”

きんづん よ た もの
金運を呼ぶ食べ物です。

くろまめ くる まよけ いみ
“黒豆”黒は魔除けの意味があります。

むびょうそくさい ねが
無病息災を願います。

“たたきごぼう”家や家族が平和に “昆布まき”

あんぜん せいかつ ねが
安全に生活できることを願います。

たづくり むかし かんそう さかな ひりょう
“田作り”昔は乾燥した魚を肥料にしていたから、

さくもつ ねが
作物がたくさんできることを願います。

ばいか
“梅花にんじん”梅は花が咲くと必ず実ができます。縁起がいいです。

たけのこ たけのこ せいちょう はや
“筍”筍は成長が早いですから、

こ どもが おお げんき せいちょう ねが
子どもが大きく元気に成長することを願います。

さといも さといも ひとつ め いち
“里芋”里芋は一つの芽からたくさん芋ができて

すから、子宝を願います。

しいたけ げんき けんこう ねが
“椎茸”元気、健康を願います。

ふるうちょうじゅ ねが
不老長寿を願います。



にほん じんじゃ い 日本の神社へ行こう！



にほんじん がつ じんじゃ い きょねん ことし かみさま いの はつもうで
日本人は1月に神社へ行って、去年はありがとうございました、今年もよろしくおねがいますと神様に祈ります。これを初詣といいます。

たいよう かみさま べんきょう かみさま こい かみさま かみさま ある かみさま にほん かみさま じんじゃ ちが かみさま
太陽の神様、勉強の神様、恋の神様、いい神様、悪い神様…。日本に神様はたくさんいます。神社によって違う神様がいます。

にほん ゆうめい じんじゃ しょうかい いちどはつもうで い
日本で有名な神社をちょっと紹介します。みなさんも一度初詣に行ってみてはどうですか。

いずもたいしゃ しまねけん いずもし 出雲大社(島根県・出雲市)

10月に日本中の神様が集まって会議するところまで有名です。祀っている(神社にいる)神様は大国主で、農業、医療、商業、恋愛などいろいろなことを助けてくれる神様です。出雲は蕎麦なども有名ですから行ってみてください。



もとのすみ になりじんじゃ やまぐちけん な がとし 元乃隅稻成神社(山口県・長門市)

狐の神様を祀っている(狐の神様がいます)神社です。1955年に建てた神社ですから歴史はあまりないですが、自然がとても豊かで景色がとてもきれいです。



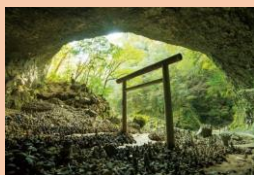
だざい ふてんまんぐう ふくおかけん だざい ふし 太宰府天満宮(福岡県・太宰府市)

ここに祀っている(神社にいる)神様の名前は菅原道真です。本当にいた人です。死んで悪い神様になったんですが、菅原道真はとても頭がいい人だったので、今は勉強の神様になりました。



たかちほ しゅうへん みやざきけん たかちほちょう 高千穂 周辺(宮崎県・高千穂町)

日本の神話では神様が空から降りてきたところとして有名です。天孫降臨といえます。神話に登場するところがたくさんあるのでとてもおもしろいです。



いつくしまじんじゃ ひろしまけん みやじま 厳島神社(広島県・宮島)

宮島は島全体がご神体です。祀っている(神社にいる)神様は宗像三女神で、海の神様で有名です。広島市内からも近いので、行ってみてください。



めいじじんぐう どうきょうと しぶやく 明治神宮(東京都・渋谷区)

都会の中心にある神社です。天皇家がよく行きます。近くには、原宿、表参道、渋谷など有名な観光地もたくさんあるので、とても行きやすいです。



ふしみ になりたいしゃ きょうとふ きょうとし 伏見稲荷大社(京都府・京都市)

ここは山全体がご神体です。稲荷は農業の神様です。稲荷神社は赤い鳥居と狐の像があります。ここはとてもたくさんの鳥居があります。5000~8000あり、とてもきれいです。



いせじんぐう みえけん いせし 伊勢神宮(三重県・伊勢市)

この神様は天照といえます。女神で、太陽の神様です。日本の神様の中で一番えらい神様です。名古屋や大阪からは遠いですが、有名ですから行ってみてください。





阿波おどりは徳島県(昔は阿波の国と言った)で生まれた盆踊りです。

盆踊りは お盆(夏に祖先の霊を祭る行事)に踊ります。阿波踊りは町の中を踊って、歩いて行く辻踊りです。

日本の三大盆踊り[西馬音内盆踊り(秋田). 阿波踊り(徳島). 群上踊り(岐阜)]のひとつです。

始まりは不明。1587年に徳島城の完成した時に始まったと言うことです。約 400 年の歴史があります。

1930年頃から阿波踊りという名前になりました。

夏になると徳島県内 各地の市町村で踊ります。

徳島市の阿波踊りは 踊り子や見物人の数が多く 国内最大規模です。

毎年8月12日から15日まで4日間で、120万人ぐらいの人が見物に来ます。(徳島市の人口は25万人)





阿波踊りの楽器

しやみせん たいこ しょうこ かね
三味線、太鼓、鉦鼓(鉦や小さい太鼓)、横笛などの2拍子のリズムに合わせて、

れん
連と言う踊りのグループが踊り歩きます。

踊っている人や楽器を持っている人が「えらいやっちゃ、えらいやっちゃ、ヨイヨイヨイヨ。」と言ったり、

「踊る阿呆に 見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにやそんそん。」と 言って踊ります。

それから「ヤットサー、ヤットサー」と言ったりします。

8月の踊りのために、県内では、5月ごろから あちらこちらで、夜 練習しています。

徳島県のたくさんの小学校、中学校では たいいく
体育の授業で阿波踊りをしています。



『徳島の阿波踊りに行ったら、踊る阿呆になってください!』